平成２７年度　帯広市・国立大学法人帯広畜産大学

**【フードバレーとかち人材育成事業】**

**受講生募集要項**

**食品安全管理コース**

**食品有害微生物講習　初級**

帯広市と帯広畜産大学は、平成２４年度より「フードバレーとかち人材育成事業」を実施しております。この事業は、食・農畜産業分野での新製品開発や販路拡大などについての実践的な講義や実習を行い、地域の経済発展に寄与しリーダーシップを発揮する人材の育成を目的としております。

本コースでは、食品衛生管理に必要な基礎知識から専門知識までの習得を目指して、以下の内容で実施します。

食品有害微生物講習は、初級・中級・上級の３段階のレベルがあり、基本から順に学び、より高度なスキルアップを目指します。講習を修了された方には「修了証書」を、また認定試験に合格された方には帯広畜産大学が認定する「食品有害微生物検査士」各級の「認定証」を交付いたします。

なお、本年度は初級のみ実施致します。

1. 応募資格

食品の衛生管理に興味のある方

1. 募集人員

１０名程度

1. 研修内容

初級（食品関係業務従事者が知っておくべき食品衛生入門）

食品衛生検査の基本を学び、一般生菌数、大腸菌群等の検査に関する実習を行います。

1. 受講料

２０，０００円（帯広市内在住または帯広市内の事業所に勤務する方は半額）

※支払方法については、後日書類にてお知らせします。

1. 受講期間

平成２７年８月３１日（月）～９月２日（水）（３日間）　９：００～１７：００

※最終日午後、認定試験

※時間の詳細は、受講決定後にお知らせいたします。

1. 受講場所

帯広畜産大学

1. 講義内容

別紙１の「①食品有害微生物講習　初級」のとおり。

1. 修了要件

受講する級の講習に全て参加すること。

1. 認定試験

本講習受講修了者には、講習最終日に行われる、食品有害微生物検査士認定試験の受験資格が与えられます。認定試験に合格された方には、「食品有害微生物検査士（初級）」の認定証を交付いたします。

※認定書は後日送付いたします。

1. 食品有害微生物検査士について

食品有害微生物検査士とは、食品の衛生的な管理に関して一定の技術があることを帯広畜産大学が独自に認定する資格です。

1. 募集期間

平成２７年７月６日（月）～７月２７日（月）

1. 応募書類

（１）様式１「志願書」

（２）様式２「履歴書」

※写真欄には、上半身・無帽・正面向き・背景無地のもので志願前６ヶ月以内に撮影した写真（縦４㎝×横３㎝）を貼付してください。

1. 応募手続

応募書類に必要事項を記入し、提出してください。

（１）応募方法：①持参又は郵送（封書の表に「食品有害微生物講習」と記載してください。）

②メール（書類は本事業のホームページから取得してください。）

（２）提出期限：平成２７年７月２７日（月）１７時必着

（３）提出先：〒080－8555

北海道帯広市稲田町西2線11番地

国立大学法人帯広畜産大学　地域連携推進センター内

フードバレーとかち人材育成事業事務局

TEL：0155-49-5773　　　FAX：0155-49-5775

E-mail：f-jinzai@obihiro.ac.jp

ホームページ：http://www.obihiro.ac.jp/~crcenter/f-jinzai/index.html

1. 選考方法

応募書類にて、応募資格を充たしているか確認します。

1. 選考結果

７月３１日（金）迄に、書面（郵送）及び電話でお知らせします。

1. 問い合わせ先

〒080－8555　北海道帯広市稲田町西2線11番地

国立大学法人帯広畜産大学　地域連携推進センター内

フードバレーとかち人材育成事業事務局　（担当：寺崎）

TEL：0155-49-5773　　　FAX：0155-49-5775

E-mail：f-jinzai@obihiro.ac.jp

|  |
| --- |
| 【個人情報の取扱いについて】  （１）帯広畜産大学が保有する個人情報は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」等の法令を遵守するとともに、「国立大学法人帯広畜産大学保有個人情報管理規程」に基づき、保護に万全を期しています。  （２）志願時にお知らせいただいた氏名、住所等の個人情報については、受講者選抜、受講可否の連絡等の業務を行うためにのみ利用します。 |

ホームページ：http://www.obihiro.ac.jp/~crcenter/f-jinzai/index.html

別紙１

講義内容

○食品安全管理コース

1. **食品有害微生物講習　初級**

|  |  |
| --- | --- |
| 講師名 | 帯広畜産大学　倉園久生教授、川本恵子教授、廣井豊子准教授、  山崎栄樹助教、奥村香世助教、楠本晃子助教 |
| 講義目標 | 食品関係業務従事者が知っておくべき食品衛生の基礎知識について講義及び実習を通じて学び、食品有害微生物検査士（初級）の資格取得を目指す。 |
| 講義内容 | ・病原体講習  ・食品衛生検査の目的と意義  ・微生物取り扱い上の留意点  ・手洗いの手法  ・緩衝液、培地の調整  ・食品衛生検査  （一般生菌数、大腸菌群および大腸菌の検査法、細菌の培養、測定、  結果の判定）  ・認定試験（筆記） |

1. 食品有害微生物講習　中級(昨年度実施内容です。本年度は実施致しません。)

|  |  |
| --- | --- |
| 講師名 | 帯広畜産大学　倉園久生教授、川本恵子教授、廣井豊子准教授、  山崎栄樹助教、奥村香世助教、楠本晃子助教 |
| 講義目標 | 食品関係業務責任者が求められる食品衛生の専門知識について講義及び実習を通じて学び、食品有害微生物検査士（中級）の資格取得を目指す。 |
| 講義内容 | ・病原体講習会  ・食中毒発生例の多い病原菌の検出法  （黄色ブドウ球菌、サルモネラ菌、腸管出血性大腸菌、ビブリオ菌）  ・認定試験（筆記） |

1. 食品有害微生物講習　上級(昨年度実施内容です。本年度は実施致しません。)

|  |  |
| --- | --- |
| 講師名 | 帯広畜産大学　倉園久生教授、川本恵子教授、山崎栄樹助教、奥村香世助教、  楠本晃子助教 |
| 講義目標 | 食品衛生のプロフェッショナルとして知るべき食品衛生の専門知識や技術について講義及び実習を通じて学び、食品有害微生物検査士（上級）の資格取得を目指す。 |
| 講義内容 | ・病原体講習会  ・より高度な技術等を要する、食中毒菌の検出法や遺伝子検査法について学ぶ。  　（カンピロバクター属菌、ウェルシュ菌等）  ・認定試験（筆記） |

様式１（志願書）

平成２７年度

＊事業室記入欄

食品安全管理コース

食品有害微生物講習　初級

**志　願　書**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 申込日 | 平成　　　年　　　月　　　日 | |
| フリガナ |  | 性　別 |
| 氏名 | 印 | 男　・　女 |
| 生年月日 | Ｓ・Ｈ　　　　年　　　月　　　日生　（　　　　歳） | |
| 携帯電話 |  | |
| E-mail |  | |
| 勤務先 | 会社名：  部署名： | |
| 〒  住　　所： | |
| ＴＥＬ：  ＦＡＸ： | |
| 自　宅 | 〒  住所： | |
| ＴＥＬ： | |
| 連絡先 | 携帯・勤務先・自宅・その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）  ※平日（９:００～１７:００）に連絡が取れるいずれかに○を付けて下さい。 | |

様式２（履歴書）

平成２７年度

食品安全管理コース

＊事業室記入欄

食品有害微生物講習　初級

**履　歴　書**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| フ　リ　ガ　ナ |  | | 写真 |
| 氏名 |  | |
|  | | |
| 学　歴（高等学校卒業から) | | | |
| 年　　　月 | |  | |
| 年　　　月 | |  | |
| 年　　　月 | |  | |
| 職　歴(最終学歴以後) | | | |
| 年　　　月 | |  | |
| 年　　　月 | |  | |
| 年　　　月 | |  | |
| 年　　　月 | |  | |
| 年　　　月 | |  | |
| 年　　　月 | |  | |
| 食品衛生に関する資格(取得年月日および資格内容) | | | |
| 年　　　月 | |  | |
| 年　　　月 | |  | |
| 年　　　月 | |  | |
| 年　　　月 | |  | |
| 年　　　月 | |  | |
| 年　　　月 | |  | |
| 食品衛生に関する経験 | | | |
|  | | | |

※欄が不足する場合は、別紙（Ａ４用紙）に記載してください。